

日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2017決定。



及び 特別賞受賞品種のご紹介 切花部門 / 鉢物部門 / ガーデニング部門

■ 「いい花の新基準」。ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション (JFS)とは、「いい花の新基準。」を合言葉に、業界初の統一的な品種コンテストとして2006年春からスタート。

国内外の新品種の中から、消費者に本当に推奨できる優れた品種を選定しています。

各審査会で受賞品種のなかから、フラワー・オブ・ザ・イヤ－（最優秀賞）や、ベスト・フラワー（優秀賞）、各種特別賞を選定し年末に表彰を行っています。

フラワー・オブ・ザ・イヤ－ <i>Flower of the Year</i>	モーストジョイ 特別賞	ニューノバリュ 特別賞	グッドパフォーマンス 特別賞	カラークリエイト 特別賞	ニュースタイル 特別賞
ベスト・フラワー <i>Best Flower</i>	フレグランス 特別賞	ジャパンデザイン 特別賞	ライフデザイン 特別賞	ブリーディング 特別賞	モニター 特別賞



いい花の新基準。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内
TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp

ジャパンフラワーセレクション2017-2018 審査会の開催状況

■切花部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2017年3月31日（木） 会場：パシフィコ横浜 ホールC・D	39品種
初夏審査会	審査日：2017年7月3日（月） 会場：株式会社大田花き	6品種
秋審査会	審査日：2017年11月27日（月） 会場：株式会社大田花き	10品種
切花部門 合計		55品種

審査会の様子



切花部門春審査会の様子



鉢物部門春審査会の様子



ガーデニング部門屋根付き施設内の様子



ガーデニング部門夏秋審査会の様子

■鉢物部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2017年3月31日（木） 会場：パシフィコ横浜 ホールC・D	42品種
母の日審査会	審査日：2017年5月8日（月） 会場：株式会社フラワーオークションジャパン	22品種
秋審査会	審査日：2017年11月28日（火） 会場：株式会社フラワーオークションジャパン	11品種
鉢物部門 合計		75品種

■ガーデニング部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2017年5月30日（火） 会場：千葉大学 環境健康フィールド科学センター	2品種
夏秋審査会	審査日：第1回2017年7月11日（火） 第2回2017年8月16日（水） 第3回2017年10月3日（火） 会場：千葉大学 環境健康フィールド科学センター	26品種
ガーデニング部門 合計		28品種

審査会のほかに関東東海花の展覧会での受賞品種PR展示やお台場おもてなし花壇などでも多くの方にJFSの受賞品種をご紹介しました。



御協力いただいた審査員の先生方

部 門	審 査 員 名
切花部門 (横浜・東京会場)	穴戸 純 (株)大田花き 営業本部 (部門長) 卯木 則宏 (株)フラワーオークションジャパン 切花部 商品課 課長代理 大根 秀夫 (株)千政 代表取締役 小泉 吉寿 (株)白楽花園 チーフデザイナー 藤本 広明 (株)日比谷花壇 購買企画推進部長 細谷 宗令 元千葉県農林総合研究センター 増田 篤 (株)日比谷花壇 東日本バンケット事業部
鉢物部門 (横浜・東京会場)	長岡 求 (株)フラワーオークションジャパン 取締役 (部門長) 井垣 秀人 (株)大田花き営業本部商品部門 第三チーム 園芸担当チームリーダー 岡部 幸一 (株)大田花き営業本部 第二グループ グループリーダー 尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役 香取 邦枝 第一園芸(株) 新商品開発課課長 小池 安比古 東京農業大学 農学部 バイオセラピー学科 教授 向原 潤 (株)ディノス・セシール フラワネット本部 フラワネット事業部 EC/事業推進ユニット チーフ
ガーデニング 部門	福永 哲也 豊明花き(株) 代表取締役社長 (部門長) 尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役 杉井 志織 はなぐみ 代表 田中 義一 (株)フラワーオークションジャパン 営業本部開発室課長 山口 まり 日本ハンギングバスケット協会 理事 渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 准教授
中央審査委員会	中央審査委員長 安藤 敏夫 切花部門長 穴戸 純 鉢物部門長 長岡 求 ガーデニング部門長 福永 哲也



ジャパンフラワーセレクション2018-2019
切花・鉢物部門 春審査会
ガーデニング部門 春審査会・夏秋審査会
出品募集開始しています。
本年もどうぞよろしくお願いたします。



切花・鉢物部門 春審査会 (パシフィコ横浜)
日時 : 2018年4月19日 (木)
*募集締切: 2018年4月10日 (火)

ガーデニング部門 春審査会・夏秋審査会 (千葉大学)
*募集一次締切: 2018年1月末日
(植込数に限りがあるため、2018年より締切日を設けました)

切花部門 春審査会

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）

京成バラ園芸株式会社 バラ 「カーミン クラシック」



品目名 : バラ
 品種名 : カーミン クラシック
 受賞者 : 京成バラ園芸株式会社（千葉県）
 育成者 : H. E. Schreuders
 育成者権者 : Interplant Roses B. V.
 H P : <http://www.keiseirose.co.jp/>
 審査講評 : ロゼット咲と輪径の大きさが目をひく、ゴージャス感たっぷりの品種。深みのあるシックな濃ピンク色の花は、インパクトが強く、来場者の人気投票では切花で9位に入賞した。
 クラシカルな花型のバラが人気だが、同系の切花品種の優品はまだ珍しい。デザイナー系のアレンジメントやブライダル素材としても期待される品種。

■受賞者コメント

【開発の経緯】

育成者であるハリー・シュルーダーズは、9歳にして花、特にバラに魅了され、関わって参りました。オーストラリアにおいて50年にわたり最大規模でバラを生産し、切バラ育種においても25年というキャリアになりますが、現在もバラについて学び、挑戦し、創造し続ける深い情熱を持っております。

【開発のコンセプト】

ハリーにとっては、これは純粋に感情から創造されるものでした。クラシカルなガーデンローズの魅力を持った切バラを作りたかったのです。また、あらゆる機会において完璧なアレンジメントに向く切バラである必要がありました。

60年以上も続く家族経営、花卉業界をリードするイノベーターとして、ハリーは画期的な新しいバラ「クラシック ローゼズ」を創造することに、非常に喜びを感じました。

これらは、一年を通じて完全開花した花を楽しめるバラとして育成されました。

「クラシック ローゼズ」は、しっかりとしたステムと、花保ちに優れた花は、あらゆるシーンのアレンジメントにとっても相応しいバラです。ガーデンバラの類似品種よりも花が強く、大輪で、完全開花し、一輪咲きの花が広いカラーレンジで揃っております。

今回の受賞品種にあまり芳香は感じられません、魅惑的な芳香を放つ品種が生まれることもあります。

クリエイティブなフローリストの手によって、あらゆるタイプのアレンジメントに活かされ、見る人すべてに目を見張るような美しさと優美さを感じさせるでしょう。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

育種の難しさは時間、忍耐、そして気候との闘いです。また、育種の喜びは、新しく育種されたバラ品種に囲まれて、それらの将来性、潜在能力を調査することに費やすすべての瞬間です。

【今後の展開】

ハリーにとってバラ育種は彼の芸術活動であり、その絵の具とキャンバスは、彼の農場に溢れるたくさんのバラであり、彼の変わらぬ情熱、知識、想像力、創造性、献身、時間と忍耐であります。未来の新しいバラを創造する可能性は、とてもエキサイティングで終わりのないもの、創造し、栽培し、魅了することです。

切花部門 春 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニュースタイル特別賞 同時受賞]

品目名 : トルコギキョウ
 品種名 : ピンクサーワ
 受賞者 : カネコ種苗株式会社（群馬県）
 育成者 : 北爪 伸英
 HP : <http://www.kanekoseeds.jp/>

審査講評 : 従来なかった剣弁の中小輪タイプの八重咲の花型で、透き通るようなピンク色は、清楚でだれにでも好まれる。軽やかな花型で、和洋どちらのアレンジメントにもフィットするだろう。枝元からの分枝は、細めだが硬く、切り分けても使い勝手が良い。剣弁咲きの分野を作りうる新しい品種。



■受賞者コメント

【開発の経緯】 デルフィニウムの八重咲き品種は元々切花の生産性があまり高くなく、冬季においては加温しても花が咲きにくいといった欠点があります。また、暑い時期に小苗を定植すると花が早く咲いてしまい、十分なボリュームのある切花を得ることができません。これらの欠点を改良して、生産性が高く、栽培しやすい品種の開発を目指しました。

【開発のコンセプト】 先に開発した水色の「クレスライトブルー」のシリーズ化として、それと同じ性質（ロゼット化しにくい、早期抽たいしにくい、高温障害が出ない、生産性が高い）を持つ青色の品種の開発を目標としました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 ロゼット化しにくく、かつ早期抽たいしにくい、さらに生産性も高い親の開発が難しかったのですが、それを見出した時は、これまでの常識を破る品種ができるかもしれないと大いに期待しました。

【今後の展開】 「クレスシリーズ」は花がやや小さ目なので、今後は花が大きく、よりゴージャスな品種を開発したいと思っています。

切花部門 春 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞） [ライフデザイン特別賞 同時受賞]



品目名 : バラ
 品種名 : ヴィンテージレース
 受賞者 : 京成バラ園芸株式会社（千葉県）
 育成者 : H. E. Schreuders
 育成者権者 : Interplant Roses B. V.
 HP : <http://www.keiseirose.co.jp/>

審査講評 : グレイッシュなラベンダー色のスプレー品種。丸くカップ咲きのような型で芯が巻く抱え咲きで、人気の花型。開花時の外側の花卉のアンティーク感と、花の中心部のフレッシュ感のコントラストが都会的な印象を感じさせる。名前の通りピンテージ感あふれるクールでシックな新しい品種。

■受賞者コメント

【開発のコンセプト】 20年近く前より、いくつかの特徴を持ったデザイナー向けの個性的な新しいスタイルのバラを作りたいという願いから始まりました。これらの特徴として、ハリーは、ガーデンローズの魅力の研究し、その後現代の切バラ品種を使って、ユニークで従来と違う切バラ品種のシリーズを育種しました。その特性基準は、一枝に複数の花を咲かせ（スプレー咲き）ながらも、美しく魅力的で優雅さをアピールする品種です。ヴィンテージレース「クラスタローズ」の特筆すべき魅力として、さまざまな開花ステージでエレガントなスプレー咲きの花の魅力が感じられる、とてもユニークな花色のバラであることです。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 育種の困難さは時間、忍耐、そして気候との闘いです。また、育種の喜びは、新しく育種されたバラ品種に囲まれて、それらの将来性、潜在能力を調査することに費やすすべての瞬間です。

【今後の展開】ハリーにとってバラ育種は彼の芸術活動であり、その絵の具とキャンバスは、彼の農場に溢れるたくさんのバラであり、彼の変わらぬ情熱、知識、想像力、創造性、献身、時間と忍耐であります。未来の新しいバラを創造する可能性は、とてもエキサイティングで終わりのないもの、創造し、栽培し、魅了することです。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ライフデザイン特別賞 同時受賞]

品目名 : バラ
 品種名 : ゴットマザー
 受賞者 : 有限会社 岡松バラ園（徳島県）
 育成者 : 岡松 計仁
 HP : <https://okamatsu-rose.jimdo.com/>



審査講評：黄色に近いオレンジ色の中心部から外側弁先のライムグリーンへのグラデーションが美しい。コロンと丸くボリュームある花型は、のぞき込む形で、咲き進みを期待させる。

ベスト・フラワー（優秀賞）と、その花があるだけで日々の生活を楽しくさせ、生活空間を豊かにしてくれる品種としてライフデザイン特別賞を受賞。来場者人気投票では切花部門第2位。

■受賞者コメント

【開発の経緯】

今までにない様な咲き方と外花卉と内花卉のいろのコントラストを大事にして開発。また、花の大きさも出す。

【開発のコンセプト】

蕾から開花の表情が大変豪華で花の中心のレモンイエローが独特です。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

母木に受粉させるのが大変難しく、一番花が咲いた時の発見が面白いです。

【今後の展開】

切り花として、たくさんの方々に使って頂ける様出荷本数を多く出して、海外にも展開していきたいです。

ベスト・フラワー（優秀賞） [ライフデザイン特別賞 同時受賞]

品目名 : トルコギキョウ
 品種名 : レイナ（2型）ホワイト
 受賞者 : 株式会社サカタのタネ（神奈川県）
 育成者 : 森 一俊
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>



審査講評：ゆるやかなウェーブフリルが印象的。花卉の重なり方がエレガントで、花の横側から見ても美しい表情を見せる。花卉数がポヤージュ系の品種よりやや少なく感じられる中、花芯の露出が少ないこともとても良い。レイナ（女王）の名にふさわしい見事な品種。ベスト・フラワー（優秀賞）とその花が在るだけで生活空間が豊かになる花としてライフデザイン特別賞を同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 従来の「レイナ ホワイト」はその花の大きさ、優雅な花形からご好評を頂いていますが、初秋のまだ暑さが残る頃では花卉数が減少することが問題となっていました。そこで、遺伝的に花卉数を増やすことを目的に開発を行いました。

【開発のコンセプト】 大きく、優雅な花形をそのままに花卉枚数を増やすこと。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 実際に生産者さまに試作していただき、思い通りのパフォーマンスを示したときに、開発の面白さ、喜びを感じます。

【今後の展開】 同じ花のサイズ、花形でライトピンク系の品種を育成したいです。

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞 同時受賞]

品目名 : バラ
 品種名 : エルヴェドゥフランソワ
 受賞者 : 有限会社たなまち園芸場（福岡県）
 育成者 : 棚町 満

審査講評：中大輪系のスプレータイプのバラ。クラシカルな感じのある上品なクリーム色で、ウェディングのブーケや会場装飾にも好まれる。花型はディーブカップ咲きで、開花が進むにつれ中からロゼットの形が出てくる。花色と花型もよくマッチしており、また、草姿のまとまりも優れていた。ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞を受賞。



■受賞者コメント

【開発の経緯】 ヨーロッパから輸入される大輪系の鮮やかな色のバラは、ヨーロッパの人には似合うのに、日本人が使用するには違和感がありました。そして日本人に似合うバラはどのようなものか考えるようになりました。ヨーロッパのクラシカルな花型はとても良いと思っていたので、クラシカルな花型で日本人に合う中大輪系のスプレーバラを作りたいと思いました。

【開発のコンセプト】 クラシカルな形で日本人に似合う中大輪系のスプレーバラを目指しました。花色は日本人の肌に合う薄黄色です。優しい色合いで、ブライダルやブーケ、アレンジメントに使いやすいです。また、散らないクラシックローズを目標に育種をしまして、花弁が強く花持ちが良い優良品種となっています。花型はディーブカップで中からロゼットの形が出てきて力強く咲いてくれます。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 技術的に何度も壁に当たりましたが、仕事で関わる方々の意見や考え方に触れることで、育種に新しい道を開くことができました。まずは周りの方に満足してもらえるバラを作ることが大事で、そのために少しずつ改良していくことが重要だと考えています。

【今後の展開】 日本人に似合う中輪系スプレーバラの育種を進めて、花屋さんや消費者に満足して使っていただきたいです。

モニター特別賞（人気投票第1位）



品目名 : デルフィニウム
 品種名 : クレスブルー
 受賞者 : カネコ種苗株式会社（群馬県）
 育成者 : 徳弘 晃二
 HP : <http://www.kanekoseeds.jp/>

審査講評：赤みを帯びないクリアなブルーが目をひく品種。八重咲の上、花つきが非常に良いので、ボリューム感がある。一般来場者の人気投票では、切花部門・鉢物部門合わせての第1位となった。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 デルフィニウムの八重咲き品種は元々切花の生産性があまり高くなく、冬季においては加温しても花が咲きにくいといった欠点があります。また、暑い時期に小苗を定植すると花が早く咲いてしまい、十分なボリュームのある切花を得ることができません。これらの欠点を改良して、生産性が高く、栽培しやすい品種の開発を目指しました。

【開発のコンセプト】 先に開発した水色の「クレスライトブルー」のシリーズ化として、それと同じ性質（ロゼット化しにくい、早期抽たいしにくい、高温障害が出ない、生産性が高い）を持つ青色の品種の開発を目標としました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 ロゼット化しにくく、かつ早期抽たいしにくい、さらに生産性も高い親の開発が難しかったですが、それを見出した時は、これまでの常識を破る品種ができるかもしれないと大いに期待しました。

【今後の展開】 「クレスシリーズ」は花がやや小さ目なので、今後は花が大きく、よりゴージャスな品種を開発したいと思います。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : トルコギキョウ
 品種名 : コサージュ ホノピンク
 受賞者 : 株式会社ナカソネリシアンサス (長野県)
 育成者 : 中曽根 健
 育成者権者 : 中曽根 健
 審査講評 : 日本人が好むやさしいピンク色。花弁が厚く、強めのフリンジがエレガントで、八重品種の良さを十分にアピールしている。
 分枝した茎が長いので、すべての花を有効に使える。ギフトやブライダルのアレンジメントなどな用途にも使いやすく、グッドパフォーマンス特別賞を受賞した



ブリーディング特別賞



品目名 : トルコギキョウ
 品種名 : ハピネスブルーチーク・ピンクチーク2型
 受賞者 : 株式会社ミヨシ (山梨県)
 育成者 : 秋元 徹
 HP : <http://www.miyosi.co.jp/>
 審査講評 : 大輪フリル咲きの八重品種。ブルーとピンクとで別の品種のようにも見えるが、遺伝子上も同じ品種であり、ブルー系とピンク系が半分半分の割合で出現する。
 淡いピンク系ブルー系は、ホームユース用途しても好まれるが、業務利用としてもブライダルだけでなくフェーナルにも活用できる。一般来場者の人気投票では、切花部門第5位に入賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ハピネスシリーズの花色増加が目的。フリル品種での掠り花色は少ない。フリル品種の花の立体感と掠りの色合いが独特な雰囲気になると考えた。

【開発のコンセプト】 ハピネスホワイトの作りやすさ・花持ち性を持ち、幅広い用途に対応できる花色品種の作出。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 本品種は約50%紫掠り八重50%桃掠り八重が出現いたします。割合は安定しておりますが、特異な品種でしたので、数年間表に出さない形をとりました。のちに市場ニーズの変化・品種の多様化等周りの状況が変化し、本品種を持つ栽培の容易さ 出荷率の高さ 発色・花持ちの良さを再確認し、その性質は欠点を超える要素であること、出現する両色とも市場性を有し、出荷物の需要が見込まれるという判断のもと、ようやく世に出させていただくことになった品種です。また本品種は「掠り」の風合いが独特であったため、日本で頬紅の意味である「チーク」という名前を付けさせていただきました。やさしい色合いで用途を選ばないお花であると思います。

【今後の展開】 流通量が極少量でこれから供給量を増やしていければと思います

カラークリエイト特別賞



品目名 : フリージア
 品種名 : エアリーフローラ サンセット
 受賞者 : 石川県
 育成者 : 村濱稔、松田絵里子、井須博史、小牧正子
 HP : <http://www.airy-flora.jp/>
 審査講評 :
 オレンジ～茶色のグラデーションの八重咲きの品種で、ところどころ紫色がさす、他に見ない独特の花色。
 香りもあるがフリージアとしては微香で、しっかりとした茎と花色が目を惹く。
 花の開花も揃って咲く性質から、アレンジメントなどでの汎用性も高い。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 フリージアの品種はほぼすべてオランダで育成されており、石川県の気象条件には合わないものでした。そこで、石川県の気象条件に合い、日本人の好みにあうものを育成することにしました。

【開発のコンセプト】 フリージアと言えば、黄色の一重のイメージが強く、フリージアに八重はいらないという声が多かったです。新たな需要を作るためにも八重は必要と思い、開発を進めました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 初期選抜の段階から品種にできると思い、増殖を進めました。八重化のため、めしべにも異常があるのか種子が付きにくいので、この品種から新しい品種を作るのは難しいかもしれません。

【今後の展開】 フリージアと言えば、黄色の一重というイメージを崩して、新たな需要を作っていくことが必要だと思います。さらにバリエーションを増やして、いろんな場面で使ってもらえる花になってほしいと思います。

フレグランス特別賞



品目名 : フリージア
 品種名 : エアリーフローラ シルク
 受賞者 : 石川県
 育成者 : 村濱 稔、小牧 正子
 HP : <http://www.airy-flora.jp/>
 審査講評 :
 花径の大きさとしっかりとした八重咲きで非常に見ごたえのあるフリージア。茎も太く、扱いもしやすい。
 今回石川県から出品された3品種の「エアリーフローラ」は、それぞれに香りの違いがあったが、この「エアリーフローラ シルク」は、フルーティな甘い香りの奥にスパイシーな香りも感じられ、3品種の中でも一番香りが強く感じられた。癒しを感じられるような、多くの人に好まれる香りをもつ品種としてフレグランス特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 フリージアの品種はほぼすべてオランダで育成されており、石川県の気象条件には合わないものでした。そこで、石川県の気象条件に合い、日本人の好みにあうものを育成することにしました。

【開発のコンセプト】 フリージアと言えば、黄色の一重のイメージが強く、フリージアに八重はいらないという声が多かったです。新たな需要を作るためにも八重は必要と思い、開発を進めました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 初期選抜の段階から品種にできると思い、増殖を進めました。八重化のため、めしべにも異常があるのか種子が付きにくいので、この品種から新しい品種を作るのは難しいかもしれません。

【今後の展開】 フリージアと言えば、黄色の一重というイメージを崩して、新たな需要を作っていくことが必要だと思います。さらにバリエーションを増やして、いろんな場面で使ってもらえる花になってほしいと思います。

ジャパndeザイン特別賞



品目名 : リンドウ
 品種名 : クラリナ サファイア
 受賞者 : 株式会社 サカタのタネ (神奈川県)
 育成者 : 佐藤 智博
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>

審査講評 :
 宝石の「サファイア」のような深みのある青色品種。咲いたときに花弁の先端がパッチリと反って開くササリンドウ系で、開いた花弁に光があたり、鮮明な青色が一層際立つ。和花として扱われることが圧倒的に多いリンドウだが、サファイア色は洋風のアレンジメントでも活用するイメージを持ちやすい。花もちも非常に良いので、秋のブライダルシーンなどでも活躍しそうだ。

■受賞者コメント

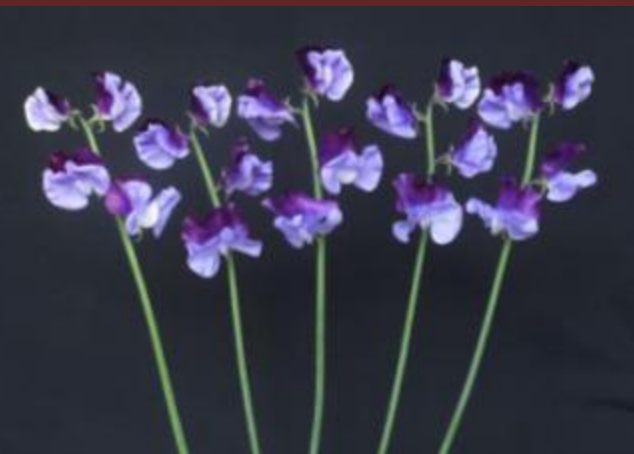
【開発の経緯】 近年、リンドウの中でも花が開くササタイプの品種が増えてきましたが、低温下では花が閉じてしまう品種がほとんどでした。低温下でも閉じにくく、いつ見ても花が開いているリンドウを作りたい、との思いから開発に至りました。

【開発のコンセプト】 花が開じにくいリンドウ

【発見・開発の面白さ、難しさ】 「クラリナ サファイア」の育成後に花持ち試験を行ったところ、従来品種に比べて非常に花持ちが良いことが分かりました。開発過程で意識したわけではない特別な形質を発見すると、開発の面白さを感じると同時に、難しさも感じます。

【今後の展開】 「クラリナ サファイア」と同様に花が開じにくく早生性の異なる品種や、ピンク系の追加色などの育成を行っていく予定です。

フレグランス特別賞



品目名 : スイートピー
 品種名 : 青式部
 受賞者 : 宮崎県総合農業試験場
 育成者 : 郡司定雄、長友広明、中村薫、中岡直士、倉永泰代
 HP :

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/nosei/mae-station/>

育成者権者 : 宮崎県

審査講評 :

宮崎県のオリジナル品種のスイートピーで、旗弁（後ろ側の花びら）と翼弁（手前の花びら）の色が異なる「式部シリーズ」の新品種。

青紫と藤色のコントラストだけでなく、従来品種より茎が太く、日持ち性も優れている点も評価される。来場者人気投票では第4位に入賞。甘い香りでフレグランス特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 宮崎県はスイートピーの国内流通量の約半分を占める一大生産地ですが、生産者や市場等からは珍しい花色や省力化につながる品種など新たな品種が求められています。今回は、外観に加え、花を長く観賞できる「日持ち性」が重要になると考え、日持ち性の優れる品種の育成に取り組みました。

【開発のコンセプト】 日持ち性に優れた珍しい花色のスイートピー

【発見・開発の面白さ、難しさ】 育種は、求める形質を持つ親を交配し、時間をかけて選抜していきますが、必ずしも求める形質を持った個体が得られるとは限りません。今回の特徴である日持ち性は、1花ごとに切り花を水に生け、日持ち日数を繰り返し調査するため、通常の選抜よりも長い時間と労力を必要とします。そのようなところに、新品種の育成の難しさを感じます。一方で、選抜した個体が、求める形質を持ち、新たな品種として栽培され流通していくことに面白さや達成感を感じます。

【今後の展開】 スイートピーは海外でも人気があり、輸出量は切り花の中で第一位です。今後も、より優れた日持ち性の形質を持つ新たな花色のスイートピーを育成していく予定です。

ジャパndeザイン特別賞



品目名 : サクラ
品種名 : 榮乃 (さかえの)
受賞者 : 石井 重久 (京都府)
育成者 : 石井 重久
育成者権者 : 特定非営利活動法人佐賀中部障がい者ふくしネット
審査講評 :

花卉の外側から濃ピンク～淡ピンクになる小輪の花がまとまってたくさん咲く。パッチリと開いた5弁のシンプルな花型で、花の中心部の黄緑色もアクセントになっている。枝が一様に上方にまとまって伸長していて、姿が良く、使いやすい。日持ち性も高く、鑑賞期間が長いことでも評価され、ジャパndeザイン特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 希望という敬翁桜の濃色品種に2006年ガンマ線照射(60グレイ時)したものの中の一つ。8/100の生存率であった。

【開発のコンセプト】 希望の繁殖率の低さの改善が目的であった。

また生育の速さや枝の生産性を上げる必要があったが、敬翁桜より25%切り枝生産性は低いのが色の濃さの付加価値でカバーしてほしい。色の濃いシリーズは鳥が花芽を食べないので春の露地切り生産も可能になる。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 いずれ発表する予定であったが、繁殖力においてイルミナシオンに劣るため、発売資本のあるところを待っている状態だった。

【今後の展開】 生存した8/100の残りの品種を順次発表する予定。

ジャパndeザイン特別賞



品目名 : モモ
品種名 : 與賀 (よか)
受賞者 : 石井 重久 (京都府)
育成者 : 石井 重久
育成者権者 : 特定非営利活動法人佐賀中部障がい者ふくしネット
審査講評 :

花卉数16～17枚、3.5～4.0cmの大輪の品種で非常に華やか。バランスのとれた箒状の草姿に花つきも見事。1輪1輪がきれいに開き、展示中に糖分の延命剤などは特に添加していないが、ブルーイングもほとんど見られなかった。
ジャパndeザイン特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 箒桃×矢口桃で大量に実生したうちのひとつ

木の生育は旺盛で、花も10-20%大きく、枝も箒桃の1.5倍ほどとれるが、日当たりが悪いと花芽のつきが悪い。

【開発のコンセプト】 切り枝蒸かしの後、全部のつぼみが咲くことを目標としてきた。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 桃が桜並みにお客様を満足させるにはつぼみがすべて咲くことと花が落ちないことが必要であるため二つの改善を目指している。

カラークリエイト特別賞



品目名 : バラ
品種名 : グランドジュビリー
受賞者 : 京成バラ園芸株式会社 (千葉県)
育成者 : H. E. Schreuders
育成者権者 : Interplant Roses B. V.
H P : <http://www.keiseirose.co.jp/>

審査講評 :
シックな赤色にのぞく蕊(しべ)がかわいらしいロゼット咲きの品種。アンティークタッチの風合いが際立つ。
コロンとしたかわいらしい花型と、艶感のない甘さを抑えたテクスチャーの相対する雰囲気個性になっている。
少し個性的なアレンジや花束に喜ばれるだろう。

■受賞者コメント

【開発のコンセプト】 60年以上も続く家族経営、花卉業界をリードするイノベーターとして、ハリーは画期的な新しいバラ「クラシックローゼズ」を創造することに、非常に喜びを感じました。これらは、一年を通じて完全開花した花を楽しめるバラとして育成されました。

「クラシックローゼズ」は、しっかりとしたステムと、花保ちに優れた花は、あらゆるシーンのアレンジメントにとっても相応しいバラです。ガーデンバラの類似品種よりも花が強く、大輪で、完全開花し、一輪咲きの花が広いカラーレンジで揃っております。

今回の受賞品種にあまり芳香は感じられません。魅惑的な芳香を放つ品種が生まれることもあります。

クリエイティブなフローリストの手によって、あらゆるタイプのアレンジメントに活かされ、見る人すべてに目を見張るような美しさと優美さを感じさせるでしょう。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 育種の困難さは時間、忍耐、そして気候との闘いです。また、育種の喜びは、新しく育種されたバラ品種に囲まれて、それらの将来性、潜在能力を調査することに費やすすべての瞬間です。

【今後の展開】 ハリーにとってバラ育種は彼の芸術活動であり、その絵の具とキャンバスは、彼の農場に溢れるたくさんのバラであり、彼の変わらぬ情熱、知識、想像力、創造性、献身、時間と忍耐であります。未来の新しいバラを創造する可能性は、とてもエキサイティングで終わりのないもの、創造し、栽培し、魅了することです。

フレグランス特別賞



品目名 : バラ
品種名 : Fluffy
受賞者 : やぎばら園 (静岡県)
育成者 : やぎばら園
審査講評 :

ほんのりピンクに色づいた白色のカップ咲きで、真っ白でないところが敢えてブライダルなどでも使いたいと思わせる品種。トゲの多さが改善されると、作業性が高まってなお良い。ミルラの香り高く、フレグランス特別賞を受賞した。

ライフデザイン特別賞



品目名 : アスター
 品種名 : あずみタイプ シェルピンク SM2-113
 受賞者 : 株式会社 サカタのタネ (神奈川県)
 育成者 : 佐藤 智博
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>

審査講評 :
 やさしいパステルピンク色とコロンとしたかわいらしい咲き方がマッチしたバランスの良い品種。ボリューム感があり、側枝が長く使い勝手もよい。夏の代表的な切花であるアスター仏花のイメージもあったが、この品種は和でも洋でも、ブーケやアレンジメントにも使いやすく、アスターの新たな用途拡大が期待できる品種として、ライフデザイン特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 定番品種として定着しつつある「あずみ」シリーズをより幅広いシーンで使ってもらいたいとの思いから、アレンジメント等にも使い易い、優しいピンク色の開発に取り組みました。

【開発のコンセプト】 フザリウム耐病性に優れる、優しいピンク色のポンポン咲きアスター

【発見・開発の面白さ、難しさ】 アスターの開発では、花色や花形の良さに加えて、フザリウム耐病性と適度な早生性を持たせることが重要です。これらをすべて兼ね備えた品種の開発は難しいのですが、「あずみタイプ シェルピンク SM2-113」はこれらをバランスよく備えた品種です。

【今後の展開】 引き続き「あずみ」シリーズの拡充を行うとともに、様々なシーンで使ってもらえるアスターの開発に取り組んでいきたいです。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : アスター
 品種名 : マカロン ローズ
 受賞者 : 株式会社 ミヨシ (山梨県)
 育成者 : 天野 良紀
 HP : <http://www.miyosi.co.jp/>

審査講評 :
 ポンポンタイプのかわいらしい形のアスター。ローズ系の花卉と、中心部分に入る黄色と白色によって立体感あるコロンとした「マカロン」型に見える。和でも洋でも、ブーケやアレンジメントにも使いやすく、ボリューム感、側枝の長さも良く、グッドパフォーマンス特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 アスターの花形は中心に黄色が入り、他の花と合わせにくく、仏花で扱われることが多かった。そこで中心に黄色が入らずに、仏花以外でも使用できるようにマカロンシリーズの開発を行った。

【開発のコンセプト】 アスターの一番大きな問題にフザリウムによる立ち枯れがある。マカロンシリーズはフザリウム抵抗性が強く、またお菓子のマカロンをイメージした花型を目標に選抜を行った。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 育種目標に沿って育種することはもちろんだが、その中でも予期せぬ品種ができることがあり、面白さを感じる。その反面育種目標に忠実な品種を作ることには難しさを感じる。

【今後の展開】 マカロンシリーズの追加花色を予定している(スカーレット、ピンク、ブルー、ホワイト)。

カラークリエイト特別賞



品目名 : トルコギキョウ
品種名 : コサージュ フェゴ
受賞者 : 株式会社ナカソネリシアンサス (長野県)
育成者 : 中曽根 健
審査講評 :

一目で目に付く色の組み合わせが印象的な品種。クリーム色にピンクの縦模様には新規性がある。花の大きさ、ボリュームも申し分ない。インパクトが強いため、単品使いのシンプルな見せ方も良いだろう。審査後の展示での買参人からの人気投票では第2位。カラークリエイト特別賞を受賞。



モーストジョイ特別賞



品目名 : トルコギキョウ
品種名 : コサージュ ラベンダー
受賞者 : 株式会社ナカソネリシアンサス (長野県)
育成者 : 中曽根 健
審査講評 :

透明感のあるラベンダー色は、弁先が濃く、花の中心部に向けて淡くグラデーションになっており、シルバーがかかったようなシックな上品さを湛えている。花弁の開き方がエレガントで、フリル系の大輪でありながら重すぎない印象。人気投票では第1位。その花があるだけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されるモーストジョイ特別賞を受賞。



ブリーディング特別賞



品目名 : トルコギキョウ
 品種名 : PF系一重ホワイト SM5-36
 受賞者 : 株式会社 サカタのタネ (神奈川県)
 育成者 : 森 一俊
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>

審査講評 :
 無花粉タイプのトルコギキョウ。花粉で花弁が汚れず、また受粉しないため花の日持ち性への期待感が持てる。八重咲き品種が主流になる中、極小輪一重咲きの品種も目新しい。茎や葉にしなやかさがあるとバランスがとれる、1輪のサイズがもう少し大きいと需要があるのではないかという意見もあった。無花粉タイプでの花型、花色、大きさなどの今後の展開が期待される。育種技術によりこれまでにない価値観や形質を生み出した品種としてブリーディング特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 受粉すると花の老化が進むことが知られており、花粉が出ない品種を開発すれば花持ちが長くなることが期待されました。また、花粉がないことにより収穫時や、輸送中、また、水揚げやアレンジ作業の際に花粉が飛び散って花自体や周囲を汚すことが無いためその点でも利点があると考えられました。

【開発のコンセプト】 花粉が無く、花もちの優れ、かつピュアホワイトの清楚な花を開発する。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 トルコギキョウの育種の歴史の中で、無花粉の品種は過去に育成されたことが無いため、それをどのように実現するか、長年にわたり試行錯誤をした点です。

【今後の展開】 同じ性質を持った濃い紫、うすいピンクなどの新品种を開発することです。また花粉のない八重品種の開発にもチャレンジしたいです。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : ヒマワリ
 品種名 : ビンセント® (2型) クリアレモン
 受賞者 : 株式会社 サカタのタネ (神奈川県)
 育成者 : 中川 雅博
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
 審査講評 :

上を向いて咲くビンセント®シリーズの新品种。黄色の中でも涼しげに見えるレモンイエロー、中央部分の鮮やかな緑色の軽やかなコントラストによって、一層さわやかに映る。多く重なった丸弁もかわいらしく、夏の代表的な花としてより幅広い層の消費者に好まれ、また手に取ってもらえる品種として、グッドパフォーマンス特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ヒマワリは定番色のオレンジに加え、ユニークな品種のニーズも高まりつつある中、夏場は爽やかな花色の需要があります。既存品種でイエロー系の品種はありましたが、より鮮やかなレモンイエローの花色を目指し、かつ花の中心部をグリーンにすることで、清涼感のある花色になるよう育成しました。

【開発のコンセプト】 ビンセントシリーズのもつ「発芽性の良さ」「上向き」の性質はそのままに、「鮮やかなレモンイエローの花色」の育成を目指しました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 黄色には、暖かみのある黄色、涼しげな黄色など、様々な色調があります。夏場に使用されることを意識して、できるだけ涼しげな黄色の花色を目指す中、多様な黄色からイメージに合致する黄色を選ぶことが難しさであり、慎重に行った点です。

【今後の展開】 海外では深刻な問題となっているべト病に対する抵抗性の付与などを行っていきたいです。また茎の硬さ、花型をそのままに新しい色の品種を作って行きたいと思っています。

ジャパndeザイン特別賞



品目名 : ケイトウ
品種名 : アスカセレクト パープル
受賞者 : 株式会社明日香園 (佐賀県)
育成者 : 山口秀行
HP : <http://www.asukaen.com>
審査講評 :

光沢あるパープルのシックな花色とボリューム感で、高級感のあるボンベイケイトウ。花首はしっかりとしていて、ステムも締まっていて硬い。扇型もきれいにまとまっている。ケイトウ独特のテクスチャーに、縁部分に入った金色ラインが印象的で美しく、和のデザインにも良くマッチする。ジャパndeザイン特別賞 (優秀賞) を受賞。

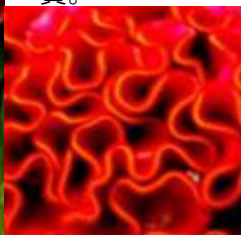


カラークリエイイト特別賞



品目名 : ケイトウ
品種名 : アスカセレクト レトロレッド
受賞者 : 株式会社明日香園 (佐賀県)
育成者 : 山口秀行
HP : <http://www.asukaen.com>
審査講評 :

鮮明な赤色、光沢感、しっかりと巻いた「うねり」部分が特徴のボンベイケイトウ。近くで見るとそのテクスチャーに高級感があふれ、離れて見ても非常にインパクトある。縁に入ったゴールドのラインで、その名の通りレトロな雰囲気を感じることができる。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種としてカラークリエイイト特別賞を受賞。



ブリーディング特別賞



品目名 : トルコギキョウ
 品種名 : ボン・ボヤージュ(2型) シルク
 受賞者 : 株式会社サカタのタネ (神奈川県)
 育成者 : 森 一俊
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
 審査講評 : 数あるトルコギキョウの白系品種の中でも混じり気のない純白の花弁を持つ品種として貴重。花弁数は多く、強めのフリンジで豪華な花型。育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種としてブリーディング特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】「ボン・ボヤージュホワイト」はその花形のよさから、ご好評を頂いていますが、時期により生産者が栽培しにくい、花形が乱れるなどの問題がありました。そこで周年に渡り、安定した品質で市場に供給できるようにしたいと考え開発に至りました。

【開発のコンセプト】特に春から高温期の夏にかけて、花形がよく、かつ栽培しやすい品種を開発すること。

【発見・開発の面白さ、難しさ】実際に生産者さまに試作していただき、思い通りのパフォーマンスを示したときに、開発の面白さ、喜びを感じます。

【今後の展開】他の花色、特に日本で需要の多いライトピンク、ピンク系で同様の展開をしたいです。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : トルコギキョウ
 品種名 : ボン・ボヤージュ(2型) ホワイト
 受賞者 : 株式会社サカタのタネ (神奈川県)
 育成者 : 森 一俊
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
 審査講評 : 白色にうっすらと緑色が入りフレッシュ感もある白系品種。強めのフリンジで、八重咲き品種の良さを十分にアピールしている。秋冬の需要期に従来型より作型を延長できる点に非常に期待が持てる。ブライダル、フェーナルなどの業務利用等、どんな用途にも使いやすく、グッドパフォーマンス特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】「ボン・ボヤージュホワイト」はその花形のよさから、ご好評を頂いていますが、時期により生産者が栽培しにくい、花形が乱れるなどの問題がありました。そこで周年に渡り、安定した品質で市場に供給できるようにしたいと考え開発に至りました。

【開発のコンセプト】特に高温期の夏から短日に向かっていく秋にかけて、花形がよく、かつ栽培しやすい品種を開発すること。

【発見・開発の面白さ、難しさ】実際に生産者さまに試作していただき、思い通りのパフォーマンスを示したときに、開発の面白さ、喜びを感じます。

【今後の展開】他の花色、特に日本で需要の多いライトピンク、ピンク系で同様の展開をしたいです。

フレグランス特別賞



品目名 : バラ
品種名 : エレノア
受賞者 : 有限会社たなまち園芸場 (福岡県)
育成者 : 棚町 満
審査講評 :

用途が多い青みがかったピンク色の人気色。淡くも濃くもなく、若者と大人が好むピンク色の中間をイメージして育種された。中台輪系のスプレータイプ品種。

花色だけでなく、香りに非常に特徴があり、ダマスクとミルラの香りの混じった素晴らしい芳香。芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種としてフレグランス特別賞を受賞。



■受賞者コメント

【開発の経緯】

花屋さんやフラワーアレンジメントの方から、「薄いピンク色のバラがあったら使いやすい」と言われて育種したバラです。花色は青みがかって、開くにつれてピンクのグラデーションがでてきます。映画に出てくる「エレノア」という車に、ネオンの光が当たって表情豊かなピンク色を呈していたのがとても綺麗で、憧れを持って名前をつけました。

【開発のコンセプト】

香りと花色を優先させて育種したバラです。香りは甘いダマスク系の香りがします。花色は若者にも大人にも好まれるような、濃すぎないピンク色となるように作りました。ブーケで使用すると一味違っておしゃれな雰囲気を出してくれます。花型は中大輪系のスプレーバラで、オープンカップ咲きでしっかり咲いてくれます。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

完璧なバラを作ることは難しく、香りと花色を優先させて育種をしたので、花弁がデリケートではありますが、青みのピンク色をピンク系のブーケなどで使ってもらいたいと思って選抜しました。

【今後の展開】

生産性だけを重視するのではなく、若い花屋さんやフラワーアレンジメントの方の声を大事にして、時代に合ったバラを作っていけるように育種を進めていきます。



品 目 名 : エラチオールベゴニア
品 種 名 : ルネッサンスプットNEO
受 賞 者 : 宇佐美園芸（愛知県）
育 成 者 : 宇佐美竜雄

審査講評 :

ベゴニアのイメージを一新する大変ユニークな品種。

エラチオールならではの透明感のあるグリーン～オレンジ色のグラデーションとぎざぎざの刻み弁で、他にはない表現になっている。色づきながら透明感ある美しいオレンジ色に変化し、低温、低日照でもよく咲く。

斬新で優れた形状をもち、これまでにない新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えるすばらしい品種。

春審査会での来場者の人気投票では、鉢物部門第1位となった。

■受賞者コメント

【開発の経緯】

元々、ルネッサンスプットという品種はあったのですが、子供が生まれたことをきっかけに、オランダのフロリアードに出店したところ、最優秀品種に選ばれなかったこと非常に悔しく、さらに良い花を生み出すために日々努力と研究を重ねた結果誕生したのがルネッサンスプット NEOです。

【開発のコンセプト】

園芸関係者また、一般消費者が「感動」する品種を生み出す！

【発見・開発の面白さ、難しさ】

花を葉に近づけることや、花型を変えることが難しい。

【今後の展開】

自分の商品にかかわる人々がファンになっていただけるよう、さらなる品種改良に「日々精進」しております。

ベスト・フラワー（優秀賞）
【カラークリエイト特別賞 同時受賞】


品目名 : ペチュニア
 品種名 : 花衣 黒真珠
 受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
 (山梨県)
 育成者 : 大屋 寛高
 育成者権者 : 株式会社ミヨシ
 HP : <http://www.mbflora.co.jp>
 審査講評 : ベルベットのような深い紫色に、黄色の縁どりのコントラストが美しいペチュニア。八重咲きの花弁は30枚近く重なっており、縁取りの効果もあり個性的な花型に見える。
 新たな花色の創造をした品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイト特別賞を受賞。来場者人気投票では鉢物部門第5位に入賞。

■受賞者コメント
【開発の経緯】

現在、流通している八重系品種での耐暑性の弱さ、花付きの悪さを解消することにより、このカテゴリーの日本市場での販売を拡大すべく、既存八重系品種にない分枝性の良さ、花付きの良さ、花の新規性に注目し開発を進めた結果、これに見事に合致する本品種が開発された。現在はこの黒系の覆輪のみであるが、このカテゴリーの一層の販売拡大を目指し、現在も他の花色の開発をてがけている。

ベスト・フラワー（優秀賞）
【ニューバリュー特別賞 同時受賞】


品目名 : ラナンキュラス
 品種名 : ラックス ウラノス
 受賞者 : 有限会社 綾園芸 (宮崎県)
 育成者 : 草野 修一
 HP : <http://www.ayaengei.com/>
 審査講評 : 分枝が良く、花つきがとても良いラナンキュラス ラックスシリーズ。花色は茶系のシックなニュアンスカラーだが、つやがありゴールドっぽくも見える。
 来場者の人気投票では鉢物部門第10位に入賞。今までにない新しい価値を感じさせる品種としてベスト・フラワー（優秀賞）とニューバリュー特別賞を同時受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 今までにない色を出すために多くの交配を試みた。実生1年目に1次選抜し2年目、3年目、と選抜を繰り返し性質の良い個体を選抜し、メリクロンにかけ商品化した。

【開発のコンセプト】 耐候性のある花壇・鉢物・切り花向きのラックスの色のバラエティを増やしていく。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 ラックスは交配が難しく種子も採れないので思う色を出すことが難しい。 半面想定外の色が出てきたりするの面白い。

【今後の展開】 花色のバラエティに加え花付き、花持ちの良い品種を作っていきたい。

鉢物部門 春 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞）

[ブリーディング特別賞 同時受賞]



品目名 : ラナンキュラス
 品種名 : ラックス エウロペ
 受賞者 : 有限会社 綾園芸 (宮崎県)
 育成者 : 草野 修一
 H P : <http://www.ayaengei.com/>
 審査講評 : 分枝が良く、花つきがとても良いラナンキュラス ラックスシリーズ。上品に輝く花弁にシックなグレイプカラー。花弁の表裏の色がリバーシブルのように濃淡になっている。丈夫で誰にでも育てやすい。風にゆれる姿はガーデンでも映え、また、切り花にしても楽しむことができる。来場者の人気投票では鉢物部門第4位。新たな品種群として今後期待できる品種としてベスト・フラワー（優秀賞）とブリーディング特別賞を同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 今までにない色を出すために多くの交配を試みた。実生1年目に1次選抜し2年目、3年目、と選抜を繰り返して性質の良い個体を選抜し、メリクロンにかけ商品化した。

【開発のコンセプト】 耐候性のある花壇・鉢物・切り花向きのラックスの色のバラエティを増やしていく。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 ラックスは交配が難しく種子も採れないので思う色を出すのが難しい。半面想定外の色が出てきたりするの面白い。

【今後の展開】 花色のバラエティに加え花付き、花持ちの良い品種を作っていきたい。

鉢物部門 母の日 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞）

[ライフデザイン特別賞 同時受賞]



品目名 : アジサイ
 品種名 : ヤマアジサイ うるは
 受賞者 : 吉岡麗子 (埼玉県)
 育成者 : 吉岡麗子
 審査講評 : 人気の手毬咲き品種。装飾花は咲き始めが白く、徐々に桜色のようなやさしいパウダーピンク色に変わる。小さな花房だが多数着くので、ボリューム感ある株でギフトにも喜ばれる。小鉢仕立てでも大きく仕立ててもどちらでも雰囲気ある贈り物になるだろう。ベスト・フラワー(優秀賞)とライフデザイン特別賞を同時に受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ヤマアジサイでは最も人気のある品種「伊予獅子てまり」からの枝変わりです。やさしい色合いでとても可愛らしかったので商品化しました。

【開発のコンセプト】 枝変わりですので、開発のコンセプトがあったわけではありません。とても運が良かったと思います。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 日本原産であるヤマアジサイはその多くが装飾花や葉が小さく日本人の感性に響く奥ゆかしさがあり、西洋アジサイとは違った魅力をもっていると思います。そのなかでも花付きに優れ可愛いピンク色が人気の伊予獅子てまりから、こんなに素敵な色の枝変わりを見つけたときは、自然がなす業に驚き、感動したものです。

【今後の展開】 品種開発につきましては特に予定がございません。皆様に喜んで頂けるヤマアジサイをしっかりと生産していきたいと思っています。

ベスト・フラワー（優秀賞）

[ライフデザイン特別賞 同時受賞]



品目名 : ルクリア
 品種名 : 舞
 受賞者 : 株式会社登坂園芸(群馬県)
 育成者 : 登坂 初夫
 審査講評 : 分枝性が良く、オレンジ色を帯びた明るいピンク色の花が株いっぱいにつくととても豪華なルクリア。部屋全体を包み込むような香りとピーチピンクのかわいい花で、ギフトとして贈られた人に驚きを与えることができる。枝がしなやかで、釣り鉢など様々な仕立てにすることもでき、従来とは違う楽しみ方もできる。ベスト・フラワー（優秀賞）と生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されるライフデザイン特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ルクリアの生産を行う中で、自社育成品種の開発にも力を入れてきました。

ルクリアの良さである愛らしい花と芳醇な香りを維持しつつ、ご家庭でも2年、3年と長く楽しんでいただけるよう、生育が旺盛で、矮化剤を利用しなくても、草姿が維持できる品種をと思い開発しました。

【開発のコンセプト】 開発の経緯と同じ

【発見・開発の面白さ、難しさ】 これまでの弊社品種にはなかった強分枝性の獲得と選抜に時間を要した。

【今後の展開】 これまでのルクリア品種では、不可能であった仕立て方(タワー仕立て・吊鉢など)で商品提案することにより、ルクリアの魅力・可能性を発信していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞）

[モーストジョイ特別賞 同時受賞]



品目名 : ファレノプシス
 品種名 : アイ・ピンクピクシードレス
 受賞者 : アイファーマーグループ蘭工房(愛知県)
 育成者 : 服部 健治
 審査講評 : 大きなリップの形状がユニークで、カトレアのような雰囲気の花型。通常のコチョウランと違った印象を与える。白からローズピンクの美しいグラデーションの花は、花と花との間隔が狭くトランプの様に重なり合うが、その動きもまた華やかで、場を華やかにする。ベスト・フラワー（優秀賞）とその花があるだけで、喜びに満ち、楽しい気分をもたらしてくれる品種に授与されるモーストジョイ特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ファレノプシスでは最近では珍しくなったビッグリップ系統の新しい品種を開発しようと試みました。

【開発のコンセプト】 ピンク色の発色の良さと個性的な表情に見える大きなリップの組み合わせを交配種に持っていきました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 ピンクと白色のコントラストが遠くから見てもハッキリと打ち出せて色合いが綺麗に表現することができました。

【今後の展開】 市場価値を考慮すると、花持ちの良さや並びの均一性さらには輪数の増加等まだまだ育成段階における改良が必要と感じています。

モーストジョイ特別賞



品目名 : ネメシア
 品種名 : フェアリーマーブルピンク
 受賞者 : 株式会社ゲブラナガトヨ(茨城県)
 育成者 : 荒井 芳夫
 育成者権者 : 株式会社ゲブラナガトヨ
 審査講評 : 春らしいピンク色と白のストライプ模様が入る個性的なネメシア。花色だけでなく、甘い香りがあることから、見る人の心はずませしてくれる。楽しい気持ちにさせてくれる品種として、モーストジョイ特別賞を受賞した。
 来場者の人気投票では、鉢物部門第6位に入賞。



グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : ペラルゴニウム
 品種名 : カルメン湘南
 受賞者 : 鈴木清次/株式会社 サカタのタネ(神奈川県)
 育成者 : 鈴木 清次
 育成者権者 : 鈴木 清次
 HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
 審査講評 : シックなローズピンクのペラルゴニウム。ブロッチラスタイプだが、濃いボルドー色の絞りが入る。このパッと目を惹く花色と緩やかなフリルが入った花型は情熱的な印象。母の日にも人気が出そうな品種。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 平成23年に品種登録をした「スイム 湘南」の枝変わりで、枝変わりの発見時より固定化をすすめたところ、安定した花色を確認しました。明るい花色が多い湘南シリーズですが、シックな花色の要望もあったため今回出展しました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 ペラルゴニウムには時々枝変わりがでることがあるため、それを見逃さずに試作を続けることが楽しいと感じます。

【今後の展開】 本年交配した苗が多数鉢上げできているので、大勢の方に喜んでいただける品種に出会えたらと期待しています。

ライフデザイン特別賞



品目名 : ローダンセマム
 品種名 : クレールピーチ
 受賞者 : 岐阜県農業技術センター
 育成者 : 粥川壮優、加藤克彦
 育成者権者 : 岐阜県
 HP : <http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/g-agri/>
 審査講評 : ほんのりとした優しい色の花卉、その裏のローズカラーが効いたバイカラーの品種。ずっと伸びた茎がポップで楽しい印象の草姿に、従来ない花の大きさで存在感もある。生活空間を豊かにしてくれる品種としてライフデザイン特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ローダンセマムは、北アフリカ等を原産とするキク科の多年草です。日本に導入されたのは、約10年前と比較的新しい品目です。従来の品種には花茎が弱く、開花後に花茎が倒伏し、鑑賞価値が下がるものが多く見られました。また、5cm以上となる大輪系の品種も少ない状況でした。そこで、コンパクトで大輪となる品種開発を目指し、H25年から交配を開始し、H28年に優れた特性を持つ本品種を育成しました。

【開発のコンセプト】 花茎が丈夫で開花後も倒伏しないこと、花の大きさが従来品種と同等以上であること、草姿がコンパクトにまとまり、花つきが良いこと等をコンセプトに、交配・選抜を進めました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 ローダンセマムは、交配親の組み合わせによっては種子がほとんど採れない場合があります。また、目標から外れた個体が圧倒的に多く、選抜した株も耐暑性が弱いため、夏期の高温で枯死することもあります。そのため、本品目の品種改良は簡単に進まないのが実情です。その中で、これかと思える系統を見つけた時の喜びは、何物にも代えがたいものがあります。

【今後の展開】 これまでにない黄色系・赤色系の品種や、年内に出荷可能な早生品種、耐暑性を持つ日本の気候でも栽培しやすい品種の開発を目指します。

鉢物部門 母の日 審査会

ニューバリュー特別賞



品目名 : ペチュニア
 品種名 : インカのペチュニア
 クリームバリエータ
 受賞者 : 高山農園（埼玉県）
 育成者 : 高山 晃
 審査講評 :

白、クリームイエロー、グリーンの色のコントラストがさわやかで美しい。まとまった草姿が、小さな花束のように見える。小さめの葉に薄いクリーム色の斑が入った葉も美しく、花が少ない時期でもさみしくならないところも優秀。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種としてニューバリュー特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 インカ系のペチュニアの栽培試験の途中で、クリーム色のペチュニアに、斑入りを発見した。もともと、このクリーム色のペチュニアは、インカ系としてエキゾチックなペチュニアを目指していた中で、インカ系から除かれる運命であったが、斑が入ることにより、観察段階のペチュニアとなった。大概是、斑入りの葉は安定しないが、見守りの中でその枝の斑が安定して分枝成長していった。挿し木し様子を見てみていたところ、友人より、これは使えるのではないかと助言を得て、増殖を行い、斑が安定したところで品種登録の申請を行った。

【開発のコンセプト】 意図して得た品種ではありません。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 斑入りは、意図してできたものではなく、神様からの贈り物だと思う。この幸運にうれしく思っている。

【今後の展開】 ペチュニアの中には、埼玉県の12月の寒さの中で、屋外で元気に成長しているものがある。この特性を、消費者の好む色合いのペチュニアに入れていきたい。

ニュースタイル特別賞



品目名 : シクラメン
 品種名 : ペチコート ダークバイオレット
 受賞者 : 株式会社ハクサン (愛知県)
 育成者 : Schoneveld Breeding
 HP : www.hakusan1.co.jp

審査講評 : スカートの裾が跳ね返り広がるような姿がかわいらしい花型のシクラメン。花を覗くようにしてみると花卉内側にも美しい模様がある。出品された品種はシックな深いワインレッドだが、この特徴ある軽やかな花型には、同シリーズのライトピンク系の明るい色味の品種も広く受け入れられるだろう。これまでにない新たな花型を持つ品種として、ニュースタイル特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 育種元のSchoneveld Breeding社(オランダ)は1930年の設立以降、シクラメンを主として開発を行ってきました。開花揃いが良く、強いステムで中心に花が集まる植物を追求してきました。中でもペチコートは見た目のユニークな品種です。

【開発のコンセプト】 波打つスカート(ペチコート)を連想させる品種を育種しました。

下向きに開花する性質で、珍しい品種ですが株の強さなどにもこだわりがあります。花卉内側の模様も素敵です。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 長年かけて少しずつ改良を進めていくことは地道なことではありますが、その中でこれまでになかった特徴に焦点を当てて開発しています。

【今後の展開】 今後も皆さんに喜んでいただける品種を開発していきます。

カラークリエイト特別賞



品目名 : ドリタエノブシス
 品種名 : ゲイシャワルツ
 受賞者 : 有限会社椎名洋ラン園 (千葉県)
 育成者 : 椎名 正剛

審査講評 : 着物の柄のようなユニークな色と模様。花つき、草姿は申し分ないが、スポットの入り方が個性的で、好みが変わるところではある。しかしながらこの強い個性は、ミディタイプであることと、ネーミングの面白さによって、より魅力的に見えていると思われる。

この花を選ぶだけで個性的な空間を作ることができるような、人の感性に訴える新しい花色の品種としてカラークリエイト特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 花持ちの良い中輪系ミディー胡蝶蘭の開発

【開発のコンセプト】 小輪系枝咲のビューティーシーナと、厚弁中輪系のチェンケンパールの交配により、花持ちの良い中輪系の綺麗なピンク点花が生まれた。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 弊社取扱い品種の中で最長の、12か月という花持ち期間を記録した。

【今後の展開】 常に花持ちの良い品種を開発していく。

ゲイシャワルツの交配を多くする。

サントリーフラワーズ株式会社 スカエボラ「サンク・エール

ディープブルー」



品目名 : スカエボラ
品種名 : サンク・エール ディープブルー
受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
育成者 : Andrew Bernuetz
Mirza Mohammed Shoaib
育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>

審査講評 :

水切れに比較的強く、ピンチも不要で耐暑性、連続開花性が従来のスカエボラより優れている。農薬を使わなくとも虫も着かず、園芸初心者でも失敗しにくい。長期にわたり手間の少ないパフォーマンスが素晴らしいスカエボラ。

暑い時期は多少花数が減ることはあったが完全に花が休んでしまうことはなく、観賞に値する範囲。節間が伸びて株元が空いてしまうことの多いスカエボラだが、このシリーズはムラなく全体に花が咲く。ディープブルーは色褪せることなく、鮮やかな発色で、太陽の下で一層魅力を発揮した。

シリーズでの色のバリエーションもあり、新たな夏の定番となりうる素晴らしい品種として、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）を受賞した。



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/19撮影)



▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/20撮影)



▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/31撮影)



▲定植後126日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/19撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 従来のスケボラは、花数が少なく、草姿も乱れる品種が多かったが、スケボラの強健さをそのままに、早生・コンパクトで色鮮やかな色の品種を選抜した。ディープブルーはスケボラの殻を破るほど強い青色が特徴。

【開発のコンセプト】 早生・コンパクト・花数の多さ。夏の暑さも強く長期間、花を楽しめること。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 品種改良の作業に手間はかかりますが、従来のスケボラのイメージを覆すようなコンパクトさ、花密度を再現することが重要であると考えています。

【今後の展開】 サンク・エールのコンパクトさを保ちつつ、シリーズに新色やバイカラー追加していきたいと考えています。

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト特別賞 同時受賞]



品目名 : ペチュニア
 品種名 : 妖精のチュチュ
 アンティークアイボリー
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)
 育成者 : 松原紀嘉
 HP : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com>
 審査講評 :

淡いイエローベージュの花弁で、花の中心に向かってパープル系のグラデーションが美しい覆輪模様の品種。分枝性も高く、ボリュームたっぷりに育つ。ピンチをしたほうがまとまりが良いが、比較的誰にでも育てやすい。

涼しげな色合い、花の縁がひらひらと波立ったかわいらしさとその印象に合った花数、立体的な草姿、株の強健さなど、消費者におすすめできるポイントが多く、ベスト・フラワー(優秀賞)、カラークリエイト特別賞を受賞した。



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/1撮影)

▲定植後38日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/2撮影)

▲定植後84日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/18撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 2014年2月に関東を襲った大雪で、松原園芸の温室が何棟も潰れてしまいました。そんな中、潰れた温室の中で生き延びる花たちを少しでも助け出したいと、わざわざ駆けつけてくださった横浜のお花屋さんアン ヴォヤージュドゥ フルールさん。その後も、潰れた温室の植物を助けてくれたアン ヴォヤージュドゥ フルールさんと意気投合し、花屋さんと生産者という新しいコンビで、新品種を開発しようとして動き出しました。そして、2016年から誕生したのが、新品種ペチュニア『妖精のチュチュ』です。

【開発のコンセプト】 誰でも育てやすい品種を目指し、病気にも、暑さにも強い品種にしました。そして、これまでにない丈夫さを兼ね備えたシックな大人色のペチュニアにしました。お花さんと生産者が初めて挑戦したペチュニアです。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 横浜のお花屋さんアン ヴォヤージュドゥ フルールさんと2年以上をかけて選抜を行い、本品種にたどり着いた。いろいろな環境条件、場所で植栽試験をし、耐病性、耐暑性、耐環境性も向上させることができた。

【今後の展開】 色幅を増やして、シリーズ化し、春から長く楽しめる商品として提案していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞 同時受賞]



品目名 : アメリカフヨウ
 品種名 : タイタンビカス エルフ
 受賞者 : 株式会社赤塚植物園(三重県)
 育成者 : 倉林雪夫
 HP : <http://www.jp-akatsuka.co.jp/index.html>

審査講評 :
 従来のタイタンビカスの白色品種「ピーチホホワイト」にはあった、花の中心部分の「目」がないタイプ。クリアな白色が一層引き立つ。

株の分枝は良く、低い位置から開花し、安定した茎にバランスよく蕾が次々に着く。節間が短く、株は大きくなりすぎない。下枝の折れも従来品種より改善されているようだ。

直径20cmを超える丸弁の大輪の花は、夏花壇に賑わいを作る。

夏花壇で抜群の存在感を発揮する品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞を受賞。



▲定植後6日の露地花壇での様子 (5/15撮影)



▲定植後42日の露地花壇での様子 (6/20撮影)



▲定植後87日の露地花壇での様子 (8/4撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】

白花モミジアオイを導入し、2年後に目の無い純白の花を咲かせることができたが、花の形、花弁の質、草姿などに満足が行かず、さらに2年かけてようやく満足の行くものが出来上がった。

【開発のコンセプト】

濃色の目が入らない爽やかな純白で丸弁大輪の花

【発見・開発の面白さ、難しさ】

目のない純白の花を作ることは当初からの目標の一つであったが、なかなか実現しなかった。しかし、白花モミジアオイを導入できたことによって、ようやく実現できたのだが、あらためて原種の重要さを実感した。

【今後の展開】

草丈2m以上になる高性なので、1mほどに収まるコンパクトなタイプを作りたい。さらに開花期も早咲きにして、6月から咲くようにしたい。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔モーストジョイ特別賞 同時受賞〕



品 目 名 : アメリカフヨウ
 品 種 名 : タイタンビカス ネオン
 受 賞 者 : 株式会社赤塚植物園(三重県)
 育 成 者 : 倉林雪夫
 HP : <http://www.jp-akatsuka.co.jp/index.html>

審査講評 :
 今期同時にエントリーしていたタイタンビカス エルフより若干花径が小さいサイズの桃紅色大輪品種。花の中心部がふわっと光を透かしたように見える立体感のある赤色。
 株はエルフと同じように2mを超え見上げるほどのサイズになり、夏花壇に賑わいを作る。枝折れについても従来品種より改善されている。
 夏花壇で抜群の存在感を発揮する品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞を受賞。



▲定植後6日の露地花壇での様子 (5/15撮影)



▲定植後42日の露地花壇での様子 (6/20撮影)



▲定植後119日の露地花壇での様子 (9/5撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】

白花モミジアオイを導入し、目の無い純白の花を育種してゆく過程で選抜落ちとすべき赤花の中に、なぜか非常に目立つものがあることに気が付いた。観察すると、花卉の裏側の中心部に近い所が白くなっていて、後ろからの光を透過していることが分かったので、その性質を追及し育種を行った。

【開発のコンセプト】

光を発しているような透明感のある赤花。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

遠くから見て、非常に目立つ花を発見したのだが、その日の天候や開花している位置によって、花の印象が大きく変わるため、当初はなぜ目立つのかが分からなかった。何度も圃場で観察を繰り返した結果、花卉の裏側から光が透過していることが分かり、新品种の育成につながった。

【今後の展開】

光を透過するこのタイプを「ネオン系」と呼ぶことにしたが、今後はさらに大輪の整った花を目指したい。

ベスト・フラワー（優秀賞）



品目名 : ペチュニア
 品種名 : マドンナの宝石 ピンクイエロー
 受賞者 : 有限会社村岡オーガニック（鳥取県）
 育成者 : 村岡佑基
 HP : <http://muraokaorganic.com/>
 審査講評 : ピンクイエローの小花が多く着き、成長も早く、草姿もまとまる。切戻しを行うことで秋まで開花する。ボリューム感もあり、1株でかなり大きく育てることもできるので、ランドスケープデザインの中でも活用が期待できる品種。また、コンテナ栽培でも草姿が自然とまとまり、花を休めることなく連続的に開花する。ベスト・フラワー（優秀賞）受賞。



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子（5/19撮影）

▲定植後20日の露地花壇・群落植栽の様子（6/5撮影）

▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子（6/20撮影）

▲定植後63日の露地花壇・群落植栽の様子（7/18撮影）

■受賞者コメント

【開発の経緯】 弊社オリジナル品種『ペチュニア マドンナの宝石ピンク』がジャパンフラワーセレクション2010-2011において、フラワー・オブ・ザ・イヤーを受賞し7年が経とうとしております。弊社では、この間にマドンナの宝石シリーズの開発を進めてきました。数ある開発品種の中で、弊社栽培調査を行った結果、パフォーマンスに納得のいく結果がでましたので、商品化しました。

【開発のコンセプト】 お客様が栽培された時の育てやすさを最も重視し、品種開発を行っております。そのために、1株で大きく育ち、花数も多い品種を目指し開発を行いました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 お客様に喜んで頂ける開発品種を商品化するまでには、多くの時間と労力を費やします。また何度も栽培調査をしなければいけません。しかし、その分、自信を持ってお届けできる商品です。

【今後の展開】 より多くの方に、マドンナの宝石ピンクイエローを通して花を育てることの楽しさや園芸のすばらしさを伝えることができると考えております。

ベスト・フラワー（優秀賞）

[グッドパフォーマンス特別賞

ニューバリュー特別賞・ブリーディング特別賞同時受賞]



品目名 : スカエボラ
 品種名 : サンク・エール ピンク
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : Andrew Bernuetz
 Mirza Mohammed Shoab

育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>

審査講評 :
 水切れに比較的強く、ピンチも不要で耐暑性、連続開花性が従来のスカエボラより優れている。農薬を使わなくとも虫も着かず、園芸初心者でも失敗しにくい。長期にわたり手間の少ないパフォーマンスが素晴らしいスカエボラ。

暑い時期は多少花数が減ることはあったが完全に花が休んでしまうことはなく、観賞に値する範囲。節間が伸びて株元が空いてしまうことの多いスカエボラだが、このシリーズはムラなく全体に花が咲く。ピンク色も色褪せもなく、安定した発色。葉と花色の対比も良かった。

シリーズでの色のバリエーションもあり、新たな夏の定番となりうる素晴らしい品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞、ニューバリュー特別賞、ブリーディング特別賞を同時受賞。



▲定植後3日の屋根付き施設での様子 (5/19撮影)

▲定植後41日の屋根付き施設での様子 (6/26撮影)

▲定植後80日の屋根付き施設での様子 (8/4撮影)

▲定植後133日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/19撮影)

▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/20撮影)

▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/31撮影)

▲定植後126日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/19撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】従来のスカエボラは、花数が少なく、草姿も乱れる品種が多かったが、スカエボラの強健さをそのままに、早生・コンパクトで色鮮やかな色の品種を選抜した。鮮やかなピンクは生育旺盛。

【開発のコンセプト】早生・コンパクト・花数の多さ。夏の暑さも強く長期間、花を楽しめること。

【発見・開発の面白さ、難しさ】品種改良の作業に手間はかかりますが、従来のスカエボラのイメージを覆すようなコンパクトさ、花密度を再現することが重要であると考えています。

【今後の展開】サンク・エールのコンパクトさを保ちつつ、シリーズに新色やバイカラー追加していきたいと考えています。

ベスト・フラワー（優秀賞）
〔グッドパフォーマンス特別賞
ニューバリュー特別賞・ブリーディング特別賞同時受賞〕


品目名：スカエボラ
 品種名：サンク・エール ホワイト
 受賞者：サントリーフラワーズ株式会社（東京都）
 育成者：Andrew Bernuetz
 Mirza Mohammed Shoajib
 育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
 HP：<http://suntory.jp/FLOWER/>

審査講評：

水切れに比較的強く、ピンチも不要で耐暑性、連続開花性が従来のスカエボラより優れている。農薬を使わなくとも虫も着かず、園芸初心者でも失敗しにくい。長期にわたり手間の少ないパフォーマンスが素晴らしいスカエボラ。

暑い時期は多少花数が減ることはあったが完全に花が休んでしまうことはなく、観賞に値する範囲。節間が伸びて株元が空いてしまうことの多いスカエボラだが、このシリーズはムラなく全体に花が咲く。ホワイトは這性が強く、花壇でカーペット状に広がるデザインに有効。シリーズでの色のバリエーションもあり、新たな夏の定番となりうる素晴らしい品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞、ニューバリュー特別賞、ブリーディング特別賞を同時受賞。



▲定植後21日の屋根付き施設での様子（6/6撮影）



▲定植後41日の屋根付き施設での様子（6/26撮影）



▲定植後80日の屋根付き施設での様子（8/4撮影）



▲定植後133日の屋根付き施設での様子（9/26撮影）



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子（5/19撮影）



▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子（6/20撮影）



▲定植後76日の露地花壇・群落植栽の様子（7/31撮影）



▲定植後126日の露地花壇・群落植栽の様子（9/19撮影）

■受賞者コメント

【開発の経緯】 従来のスケボラは、花数が少なく、草姿も乱れる品種が多かったが、スケボラの強健さをそのままに、早生・コンパクトで色鮮やかな色の品種を選抜した。ホワイトはシリーズの中でも特に花密度が高い。

【開発のコンセプト】 早生・コンパクト・花数の多さ。夏の暑さも強く長期間、花を楽しめること。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 品種改良の作業に手間はかかりますが、従来のスケボラのイメージを覆すようなコンパクトさ、花密度を再現することが重要であると考えています。

【今後の展開】 サンク・エールのコンパクトさを保ちつつ、シリーズに新色やバイカラー追加していきたいと考えています。

ベスト・フラワー（優秀賞）

[グッドパフォーマンス特別賞

ニューバリュー特別賞・ブリーディング特別賞同時受賞]



品目名 : スカエボラ
 品種名 : サンク・エール ライトブルー
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : Andrew Bernuetz
 Mirza Mohammed Shoaib

育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社
 審査講評 :

水切れに比較的強く、ピンチも不要で耐暑性、連続開花性が従来のスカエボラより優れている。農薬を使わなくとも虫も着かず、園芸初心者でも失敗しにくい。長期にわたり手間の少ないパフォーマンスが素晴らしいスカエボラ。

暑い時期は多少花数が減ることはあったが完全に花が休んでしまうことはなく、観賞に値する範囲。節間が伸びて株元が空いてしまうことの多いスカエボラだが、このシリーズはムラなく全体に花が咲く。爽やかなライトブルーは他の品種より若干ボリュームが少なかったが、寄せ植えやハンギングバスケットに利用しても組み合わせやすい。

シリーズでの色のバリエーションもあり、新たな夏の定番となりうる素晴らしい品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞、ニューバリュー特別賞、ブリーディング特別賞を同時受賞。



▲定植後21日の屋根付き施設での様子 (6/6撮影)



▲定植後55日の屋根付き施設での様子 (7/10撮影)



▲定植後115日の屋根付き施設での様子 (9/8撮影)



▲定植後133日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/19撮影)



▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/20撮影)



▲定植後63日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/18撮影)



▲定植後126日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/19撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】 従来のスケボラは、花数が少なく、草姿も乱れる品種が多かったが、スケボラの強健さをそのままに、早生・コンパクトで色鮮やかな色の品種を選抜した。ライトブルーは暑い夏にぴったりな涼しげな色で草姿がまとまる。

【開発のコンセプト】 早生・コンパクト・花数の多さ。夏の暑さも強く長期間、花を楽しめること。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 品種改良の作業に手間はかかりますが、従来のスケボラのイメージを覆すようなコンパクトさ、花密度を再現することが重要であると考えています。

【今後の展開】 サンク・エールのコンパクトさを保ちつつ、シリーズに新色やバイカラー追加していきたいと考えています。

ベスト・フラワー（優秀賞）[ニュースタイル特別賞、カラークリエイト特別賞同時受賞]



品 目 名 : ニチニチソウ
 品 種 名 : ノブレスチュチュ
 受 賞 者 : 北島園芸(奈良県)
 育 成 者 : 北島 治
 審査講評 :

フリル状花弁の深い赤色の独創的なニチニチソウ。花数で見せるというより、花の存在感が際立つ品種で、花の間から見える葉も艶やかで美しい。

独特な花型、新規性だけでなく株の強健さもあった。今年は雨が多かったが、枯死する株もなく、また、花ガラが葉に貼りついてカビが発生することもなく、セルフクリーニング性も認められた。

個性的な花を求める園芸中級者以上の方にも喜ばれる品種。ベスト・フラワー（優秀賞）とニュースタイル特別賞、カラークリエイト特別賞を同時受賞。



▲定植後14日の屋根付き施設での様子 (6/6撮影)



▲定植後日の屋根付き施設での様子 (7/7撮影)



▲定植後73日の屋根付き施設での様子 (8/4撮影)



▲定植後126日の屋根付き施設での様子 (9/26日撮影)



▲定植後13日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/13撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影)



▲定植後69日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/31撮影)



▲定植後112日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/5撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】今までにない花色、花形の日々草を作ろうと思い選抜し交配をしています。その過程で出来たフリル咲きの日々草「フリンジピンカ」ができました。更に新しい品種を作るために選抜育種をした結果、淡い色から濃い色の花色が特徴的な日々草ができました。その中でできた1品種がノブレスチュチュです。

【開発のコンセプト】見た人が感動をするような花を作りたいと思い日々、品種改良をしています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】交配をしても思ったような品種が作れない事もあり、試行錯誤をする事が楽しいです。

【今後の展開】今後は花色、花形だけでなく株の姿にも特徴をもった品種を育種していこうと思います。

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品目名：ニチニチソウ
 品種名：フェアリースター コーラルピンク
 受賞者：サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者：山田 将弘
 HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>

審査講評：

極小輪のニチニチソウ。分枝が良く株のボリューム、花数、連続開花性、ともに申し分がなく、パフォーマンスが高い。コーラルピンクに黄色のアイが入る。遠方から見てもインパクトがある。

分枝した枝の高さに若干のばらつきが出るが、こんもり丸く仕上がるタイプとは違うが、ガーデンデザインの中で他の植物に自然に馴染む使い方が出来る。

開花が始まってから長期間に渡って楽しめ、誰にでも育てやすい品種としてベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。



▲定植後14日の屋根付き施設での様子 (6/26撮影)



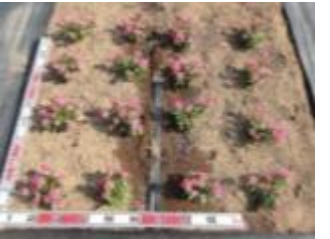
▲定植後45日の屋根付き施設での様子 (7/7日撮影)



▲定植後73日の屋根付き施設での様子 (8/4撮影)



▲定植後126日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



▲定植後13日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/5撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影)



▲定植後69日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/31撮影)



▲定植後112日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/5撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】より病気に強いフェアリースターの開発を目標に交配・選抜を実施。冬から春の温室での生育、春から秋の屋外での生育を評価し、病気に強いフェアリースター コーラルピンクを選抜した。

【開発のコンセプト】分枝まとまりが良く、病気にも強いフェアリースターの開発。

【発見・開発の面白さ、難しさ】耐病性の評価は難しく、冬場の温室内、春から秋の屋外の両方で評価し、どちらの条件でも強い品種を選抜することが重要なポイントである。

【今後の展開】フェアリースターを今よりもさらに育てやすいシリーズにするべく、引き続き品種の改良を進めていきたいと考えております。

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品目名 : ニチニチソウ
 品種名 : フェアリースター ホワイト
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)
 育成者 : 山田 将弘
 HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>

審査講評:

極小輪のニチニチソウ。分枝が良く株のボリューム、花数、連続開花性、ともに申し分がなく、株のまとまりが非常によく、草姿は丸くこんもりとまとまる。

ホワイトは赤いアイが入る。

開花が始まってから長期間に渡って楽しめ、切り戻しの必要もない。誰にでも育てやすい品種としてベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞した。



▲定植後14日の屋根付き施設での様子 (6/26撮影)



▲定植後45日の屋根付き施設での様子 (7/7日撮影)



▲定植後73日の屋根付き施設での様子 (8/4撮影)



▲定植後126日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



▲定植後13日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/5撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影)



▲定植後69日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/31撮影)



▲定植後112日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/5撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】より病気に強いフェアリースターの開発を目標に交配・選抜を実施。冬から春の温室での生育、春から秋の屋外での生育を評価し、病気に強いフェアリースター ホワイトを選抜した。

【開発のコンセプト】分枝まとまりが良く、病気にも強いフェアリースターの開発。

【発見・開発の面白さ、難しさ】耐病性の評価は難しく、冬場の温室内、春から秋の屋外の両方で評価し、どちらの条件でも強い品種を選抜することが重要なポイントである。

【今後の展開】フェアリースターを今よりもさらに育てやすいシリーズにするべく、引き続き品種の改良を進めていきたいと考えております。

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト特別賞 同時受賞]



品 目 名 : ペンタス
 品 種 名 : ラッキースター ダークレッド
 受 賞 者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
 育 成 者 : Jaison Jandrew
 育成者権者 : Pan American Seed
 HP : <http://www.mbflora.co.jp>

審査講評：

花が葉に隠れず、バランスよく咲くペンタス。連続開花性に優れ、定植後花が休むことなく、観察期間中は常に良い状態の花を楽しむことが出来た。

分枝も良く、コンパクトに安定した揃いの良い草姿で、安心して消費者におすすりできる。

少し黒みがかったシックな深い赤い花色は、夏に楽しめるだけでなく、併せるものを変えれば、植えたままで秋らしい雰囲気の花壇に衣替えることもできる。長期間楽しめることに価値を感じられるすばらしい品種。

ベスト・フラワー(優秀賞)、カラークリエイト特別賞を同時受賞。



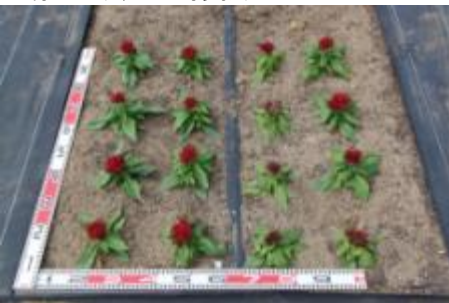
▲定植後21日の屋根付き施設での様子 (6/27日撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (8/4撮影)



▲定植後112日の屋根付き施設での様子 (9/26撮影)



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/20撮影)



▲定植後42日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/18撮影)



▲定植後91日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/5撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】現在、流通しているペンタス赤系品種のなかで、特に濃い赤に着目し開発を行った。同時に開花の連続性の弱さもペンタスの弱点とされていたため、開花の連続性にも焦点をあてて開発を行った結果これらの条件に合致する品種が生まれた。いうまでもなく一般的にペンタスは耐暑性がある植物であり、日本の初夏から初秋までの環境に順応できる性質があるが、花色のバリエーションは少ない。今後も日本市場、アジア市場の販売を拡大すべく、既存品種にない花色の開発、連続開花性を目標として開発を手掛けている。

ベスト・フラワー（優秀賞）



品目名：ペンタス
 品種名：ギャラクシー パープルスター
 受賞者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
 (山梨県)
 育成者：Jaison Jandrew
 育成者権者：Ball Horticultural Company
 HP : <http://www.mbflora.co.jp>
 審査講評：

パープルの花型に沿って星形に白い色が入る覆輪の花がかわいい。高温期でも花の色むらなく、株の生育も安定していた。分枝もよい。繊細な覆輪の花は、花壇だけでなく寄せ植えのような近くで観賞する用途にもよい。明るい涼しげな花色でもあることから、夏花壇の素材として、安心して消費者にお勧めできる良い品種。



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/20撮影)



▲定植後42日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/18撮影)



▲定植後91日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/5撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】

現在、流通しているペンタス品種のなかにはない新たな花色を開発すべく育種を行った結果、白地に薄紫の縁取りが入るバイカラーが発現した。これに改良を加えていくことにより、連続開花性、高い分枝性を併せ持った本品種の開発にいたった。いうまでもなく一般的にペンタスは耐暑性がある植物であり、日本の初夏から初秋までの環境に順応できる性質があるが、花色のバリエーションは少ない。今後もこのバイカラー系統の花色の拡充をすべく開発を手掛けている。

ベスト・フラワー（優秀賞）



品目名：ニチニチソウ
 品種名：夏花火 ホワイトレッドアイ
 受賞者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
 育成者：大屋寛高
 HP：<http://www.mbflora.co.jp>
 育成者権者：株式会社ミヨシ
 審査講評：

赤目の小花と細い花卉の極小輪タイプ。多花性で連続開花性もある。

丸いドーム型に生育するタイプだが、株に若干の凹凸が出た。

生育は旺盛で、今年は雨が多かったが、立ち枯れも少なく、旺盛に生育し、観察期間中安定した花つきで楽しめた。育てやすい品種。ベスト・フラワー（優秀賞）を受賞。



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子（6/20撮影）



▲定植後42日の露地花壇・群落植栽の様子（7/18撮影）



▲定植後91日の露地花壇・群落植栽の様子（9/5撮影）

■受賞者コメント

【開発の経緯】

現在、流通しているニチニチソウ小輪系品種で日本の夏の花壇に適した耐暑性、耐雨性、また一株でも十分見ごたえのする新たな品種を開発すべく育種を行った結果、白地に赤の目が入る花色の開発に至った。また、この小輪のニチニチソウは夏季の寄せ植え鉢でも他の品目と調和できる特性を有し、幅広いニーズに応えることができる特性を有する。すでに(株)エム・アンド・ビー・フローラでは夏花火はシリーズ化しており、市場での認知度も上がってきているため、今後さらなる花色の拡充を目指し販売を拡大させるべく開発を進めている。

カラークリエイト特別賞



品目名 : ペチュニア
品種名 : Yes! イエロー
受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)
育成者 : 大屋寛高
育成者権者 : 株式会社ミヨシ
HP : <http://www.mbflora.co.jp>
審査講評 :

3~4 cmの小輪タイプの花をたくさん着ける。株張りよく、ボリューム感たっぷりにつつま。従来の黄色系品種に比べて濃い黄色であり、小輪の黄色品種としては新規性の高い品種。発色が良く、花壇を華やかにしてくれる。黄色品種は花色と葉色が似てしまうというが、葉色をバックにイエローのネオンカラーが良く映え、カラークリエイト特別賞を受賞した。



▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/19撮影)



▲定植後27日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/15撮影)



▲定植後91日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/18撮影)

■受賞者コメント

【開発の経緯】

現在、流通している黄色系品種での耐暑性の弱さ、高温期の色あせを解消することにより、黄色系品種の日本市場での販売を拡大すべく、既存黄色系品種にない耐暑性と色あせのしない濃い黄色に注目し開発を進めた結果、これに見事に合致する本品種が開発された。実際の屋外圃場試験を繰り返し行うことにより本品種の夏季の高温、多湿のなかでの優れたパフォーマンスが証明され発売に至った。今後も日本の環境にあった他の花色のペチュニアの開発に取り組んでいる。

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。
各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会での協議審査の結果、切花・鉢物・ガーデニングの各部門で各1品種ずつ選ばれます。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。
各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。
なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまで以上に比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパニデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しくさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。



ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)
ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。
JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRIにご活用ください。

受賞者の皆様へ ジャパンフラワーセレクションからのお知らせ

**第67回 関東東海花の展覧会（期間2月2日(金)～2月4日(日)）で
ジャパンフラワーセレクションの受賞品種や最新品種のPRをしませんか？**

ジャパンフラワーセレクション 受賞品種コレクション出品募集のご案内

同時募集：国際園芸博覧会出品品種とその関連品種、最新品種

@
第67回
関東東海
花の展覧会

2018年2月2日(金)～2月4日(日)開催の「第67回 関東東海花の展覧会」で、「ジャパンフラワーセレクション」の入賞品種と、フロリアードやアンタルヤ国際園芸博覧会等の国際園芸博覧会で高い評価を受けた品種やその関連品種、最新品種を展示するコーナーを設けますのでご案内いたします。

* 関東東海花の展覧会とは・・・花に対する理解を深め、一層の花の消費拡大を図ることを目的として、関東東海地域の1都11県と花き関係6団体が主催する、日本で最大規模の伝統ある花の展覧会です。

関東東海花の展覧会の会員（1都11県）以外の都道府県の方も、
ジャパンフラワーセレクションのコーナーを品種のPRにご活用ください。

■ PR展示の対象：JFSの過去の受賞品種全品種

同時募集：国際園芸博覧会出品者の出品品種とその関連品種、最新品種など

■ 展示場所：東京 池袋 サンシャインシティ文化会館2階 展示ホールD（入場無料）

■ PR展示申し込み締め切り：2018年1月25日(木) **終了しました。** * 展示スペースに限りがありますので、1月25日(木)以前に締め切ることがあります。ご希望の方は早めにお申し込みください。

■ 展示品搬入日時：

① 宅配便による搬入の場合 2018年2月1日(木) 午前中 必着

② 出品者による直接搬入の場合 2018年2月1日(木) 11:00～15:00 必着

* この日以外は受け取ることができませんのでご注意ください。

■ PR展示期間：2018年2月2日(金)～2月4日(日)

■ 出品料：無料

■ 搬入先住所：〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館2階 展示ホールD

第66回関東東海花の展覧会 出展者名（一財）日本花普及センター

出品をご希望される方は、（一財）日本花普及センターまでお問い合わせください。



関東東海花の展覧会（2017）の受賞品種PR展示の様子

お問い合わせ・お申し込みは 一般財団法人日本花普及センター まで

E-Mail jfpc@jfpc.or.jp

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3丁目6番17号

TEL：03-3664-8739/FAX：03-3664-8743

ジャパンフラワーセレクション(JFS)出品募集中！

「切花・鉢物部門 春審査会@2018日本フラワー&ガーデンショウ」

同時開催 新花コンテスト(主催：園芸文化協会) 来場者人気投票 (F&Gジャパンセレクション 主催：家庭園芸普及協会)

「いい花の新基準。」ジャパンフラワーセレクションの審査会を日本フラワー&ガーデンショウ2018(パシフィコ横浜)の会場で開催いたします。審査会後は4月20日(金)~22日(日)までショウ会場内に展示され、来場者の人気投票(今年の総投票数14,093票!)も行われます。(人気投票は20日(金)と21日(土)のみ)同時開催の新花コンテストへのご参加もぜひご検討ください。(新花コンテストについての詳細は別紙をご参照ください)春の切花・鉢物のご出品をお待ちしています。

出品申し込み締切日：2018年4月10日(火)

花材搬入日：4月19日(木) AM中

切花・鉢物部門 審査日：4月19日(木) PM

審査会場・展示会場：パシフィコ横浜展示ホールA/B内

ジャパンセレクション会場

住所：〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1



出品申し込み方法

- ①「出品申請書(別添2枚つづり)」②「ジャパンフラワーセレクション花材出荷通知書」をメールまたはファックスでお送りください。

出品申請書受領後に事務局より搬入出方法などのご案内についてのご連絡をいたします。

出品申請書のエクセル様式の請求・送付先

ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局 三井宛 (日本花普及センター)

TEL: 03-3664-8739 FAX: 03-3664-8743 E-mail: jfpc@jfpc.or.jp

出品料 (審査会後にご請求書をお送りします)

JFSのみに出品 (特別価格)	新花のみに出品	JFS+新花コンテストに出品 (特別価格)
2,500円(税別) 2,700円(税込み)	2,500円(税別) 2,700円(税込み)	2,500円(税別) 2,700円(税込み)

(※) 上記の金額は今回の春審査会限定の特別価格です。

JFS参加基準数量 (審査時の花材の数量)

輸送による傷みなども考慮して、なるべく予備も搬入してください。

切花部門	基準数量	鉢物部門	基準数量
バラ、トルコギキョウなどの一般的なサイズの花	10~15本	4号鉢未満	3~4鉢
アジサイ、ユリなど大型の花	5本~	4号鉢~7号鉢	2~3鉢
		8号鉢以上	1~2鉢

■ JFS出品対象品種

① 日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね5年以内の品種② 日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの(海外で育種されたものも含む)③ 種苗法や遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律等の法令違反を犯していない品種であること。

■ JFS出品申請者資格

以下のいずれかに該当する方が出品可能です。

- ① 品種を育種開発した者
- ② 品種の育成者権(同品種を業として扱う権利)を持つ者
- ③ 前二者のどちらかとの契約により日本における販売代理権を持つ者

ジャパンフラワーセレクションのお問い合わせは一般財団法人 日本花普及センター まで

E-Mail jfpc@jfpc.or.jp

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3丁目6番17号山一ビル4階

TEL: 03-3664-8739/FAX: 03-3664-8743

出品申請書もジャパンセレクションのホームページからダウンロードできます。

<http://www.jf-selections.net/>



ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、
業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。